

2018年 「認知症看護対応力向上研修」(神戸会場) 参加者アンケート結果

開催日：2018年9月23日(日)・24日。(月・祝)
 会場：三宮コンベンションセンター 5階 Room504.505
 受講者数：66名(会員：3名 非会員：63名、受講証明書付与66名)
 回答者：65名



I 研修会全体について

Q1. 研修の内容は期待どおりであったか

期待通り (29) まあまあ期待通り (32) あまり期待通りでなかった (1) 無回答 (3)

Q2: 研修を受けて、自分の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか

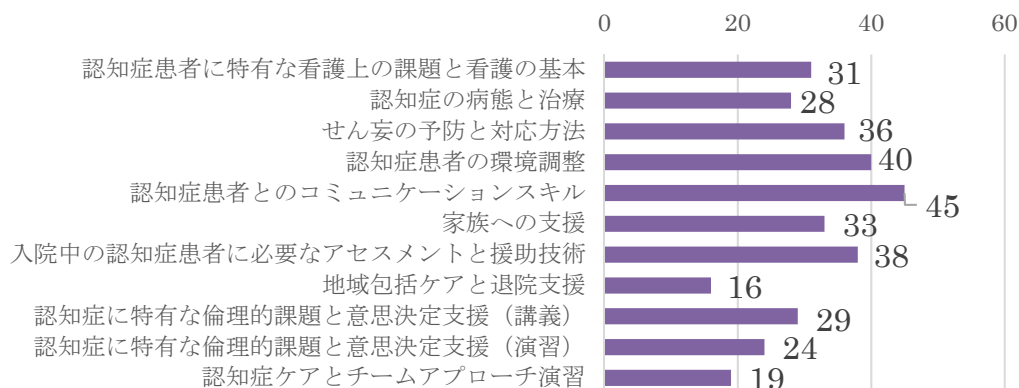
とても思う (43) まあまあ思う (22) あまり思わない (0) 思わない (0)

Q3: 研修を受けて、病院・病棟の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか

とても思う (43) まあまあ思う (18) あまり思わない (2) 思わない (0) 無回答 (2)

II 研修会の内容について

Q4: 講義・演習について特に自分にとって収穫があったと思うもの(複数回答可)



Q5: 講義・演習に追加して欲しい内容、改善点

追加してほしい内容

- せん妄時の具体的な対応例や動画。 ・患者家族からの現状、生の声、行政の視点、立場から。
- 加齢に伴う身体的変化の知識。 ・演習の時間を増やしてほしい。
- How-toを具体的に教えてほしい。 ・薬剤についてももう少し詳しく知りたかった。
- DVDの内容について話し合いがあったが、DVDでの良い例も見せて頂けると参考になる。

改善点

- 資料と映し出されたスライドの照らし合わせがづらい講義があった。
- ピンマイクは聞き手には不快だった。
- 空調のせいのかたばこ臭かった。

Q6: 自身の病院・病棟において質改善・向上において今後このような研修は必要だと思うか

とても思う (41) まあまあ思う (22) あまり思わない (0) 無回答 (2)

III 研修会後の病院・病棟での活用について

Q7: 研修会で学習した内容の病院・病棟での活用予定

ある (54) ない (8) 無回答 (3)

Q8: 「活用予定あり」の内容

病棟報告会 (26) 伝達講習会 (13) マニュアル作成 (5) 看護計画立案 (17) その他 (9)

Q9: 研修会で学習した内容を病院・病棟で活用・普及するにあたっての困難や障害

とてもある (3) まあまあある (10) あまりない (43) ない (2) 無回答 (7)

Q10: とてもある、まあまああると回答した方

- ・時間の制限がある。
- ・病院の体制の問題
- ・スタッフの意識改革が必要
- ・内容が多いため自身でまとめることが困難。

IV 研修会への応募・参加について

Q11: 研修会への参加の応募の決定

指示・指名 (37) 公募への応募 (5) 自主的応募 (22) その他 (1)

Q12: 参加費の支払い

全額負担 (39) 一部自己負担 (2) 全額自己負担 (21) 無回答 (3)

V 参加者の概要

Q13-1: 性別 男性 (3) 女性 (62)

Q13-2: 年齢 20代 (9) 30代 (11) 40代 (29) 50歳以上 (13) 無回答 (3)

Q13-3: 職位 スタッフ (34) 主任・副師長・係長 (17) 師長・課長 (11) その他 (2) 無回答 (1)

Q13-4 看護師経験年数 5年未満 (5) 5-10年未満 (10) 10-20年未満 (16)
20-30年未満 (23) 30年以上 (9) 無回答 (2)

Q13-5 最終学歴 専門学校 (41) 短大 (5) 大学 (9) 大学院 (5) 5年一貫 (3) 無回答 (2)

Q14-1 勤務する病院の種類

特定機能病院 (21) 地域医療支援病院 (5) それ以外の一般病院 (35) その他 (4)

Q14-2 勤務する病院の病床規模

500床以上 (22) 300-500床未満 (23) 100-300床未満 (15) 20-100床未満 (1)

Q14-3 勤務する病棟の種類

一般病床 (41) 療養病床 (5) 回復期リハ (2) 地域包括 (3) その他 (11)

VII 自由記載(一部抜粋)

感想

院内研修と違い、具体的にどう考えて行動すればよいか分かり、非常に今後の看護に役立つ。

とても楽しく充実していた。認知症患者を擁護する大切さがどの講義の中でもあり、看護者の基本的な姿勢を改めて学べた。認知症看護の根拠を学べた。

身体拘束について、安全のために行う場合スタッフにより対応がいろいろ。夜勤など何事もなく過ごしたいと思うスタッフなど、どうかかわればいいのか悩む。

病棟全体に知識を浸透させて多職種とともに関わっていききたい。

演習の中で、ワークシートに記入するのは以外に難しかった。家族・ご本人の立場になって今回の学びを活かしたい。

講義について

病態についてももう少し学べれば認知症の種類に応じた対応ができるのではないかと考えた。

資料 P.52 に看護師の物事の判断の傾向、とあったが教育や経験が足りていないからではないか？職業としてひとくくりにするのは乱暴な気がする。

演習が中途半端。もっと意見交換できる時間があるとよかった。

認知症看護対応力向上の研修なので、基本的な理念や考え方を見直す機会にはなるが、もう一歩進んだところの、例えばコミュニケーションやアセスメントも困難な事例を通して、どう考えていけばよいかといった話を期待していた。ここに学びに来る人は、実践を通して基本的なことは学んで実感してきていると思う。

認知症ケアの考え方はよくわかったが、現実とのギャップがあるように思う。そのギャップが少しでも解消できるご助言を多く頂けるとありがたいと思った。

以上